

キャラクター名 久遠電華(くおんひょうか)	プレイヤー名
--------------------------	--------

シンドローム	サラマンダー サラマンダー	ワークス	ゼノスエージェント	カヴァー	高校生
オプション		年齢	18	性別	
覚醒	死	衝動	恐怖	初期侵食率	35%
出自	一般家庭	経験	絶望と覚悟	邂逅	想い人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	56
肉体	4	1	0	2		7	行動値	4
感覚	0		0	1		1	(非装備時)	4
精神	2		0			2	戦闘移動	9
社会	2		0			2	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	8		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	3		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:ゼノス	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:噂話		
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
兵刃 焔薙	白兵	7r+6	6	38(42)		
80	白兵	9r+6	6	34+2D		
100	白兵	10r+6	6	39+2D		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品						合計装甲:	0	合計回避:	0
暗視ゴーグル						ロイス			
噂好きの友人						対象	感情(pos)	感情(neg)	消費
						超血統	P	N	
						綾瀬真花	P 純愛	N 偏愛	
						矢神秀人	P 懐旧	N 憎悪	
							P	N	
							P	N	
							P	N	
							P	N	
							P	N	
						最大財産P:	6	残り財産P:	0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
氷の城塞	5	3	セットアップ	至近	自身	自動		
効果:	戦闘間HPがダメージ-[Lv*3]							
氷熱の軍団	7	10	インテリジェンス	視界	シーン(選択)	自動	120	
効果:	ATK+[Lv*4]							
氷炎の剣	5	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果:	命中-2,ATK+[Lv+6],ガード+6							
地獄の氷炎	9	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果:	ガードorATK+[Lv*3]							
フレイムタン	1	2	メジャー	視界	自身	白兵		
効果:	ATK-[5-Lv]							
コソトノイト/サラマンダー	2	2	メジャー	至近	自身	シンドローム		
効果:	C値低下							
結合粉碎	5	4	メジャー	-	単体	シンドローム		
効果:	ダメージ+[Lv]、装甲無視							
エネルギーブレイド	2	4	メジャー	-	-	シンドローム	80	
効果:	ATK+2D 判定ダメージ-1							
氷盾	4	2	オート	至近	自身	自動		
効果:	ガード値+[Lv*5]							
炎の理	1							
効果:								
不燃体	1							
効果:	マヨヒガ内部は灼熱になっている。							
自動体温	1							
効果:	精神状態をコントロールする為に。							
熱感知知覚	1							
効果:	真花の体温にのみ作用する							

FHの策略によって日常を失った少女。
覚醒からしばらくはUGNに身柄を置いていたが、とある事件の際にトラウマを抱えて脱退した。現在はゼノスに所属するエージェントとしての立場だが、プランナーへの忠誠心はあまり無い。
綾瀬真花を自らの手で守るための情報や後盾を得たい電華と、彼女に何らかの可能性を見ているプランナーとの思惑が一致している形だ。
ゼノスエージェントとして任務に当たることはあるが、FHの活動に加担するような活動には一切関与せず、またゼノス側もそのような活動の情報は電華に渡していない。

久遠電華がUGNの脱退を決めた背景には、逆さ月とカナリアの死を目撃したことほかに、FHに対する敵対的な位置取りを嫌ったことが挙げられる。そのためレネゲイド界限では比較的中立といえるゼノスに所属したのである。
この件に関して、UGNから考え直すよう説得があったが人間不信がフラッシュバックしていた当時の彼女に言葉を届けることはできなかった。
また、彼女がUGNに属していた期間で能動的にゼノスと接触できたとは考えにくいので、ゼノスから何らかのアプローチがあったことは想像に難くない。

久遠電華のレネゲイドの特徴として短期間で急速な進化が挙げられる。覚醒直後は彼女の陸上部エースとしての身体能力を反映したサラマンダー/ハヌマーンの亜種であったが、徐々にハヌマーンとしての性質は薄れていき、現在ではサラマンダーのピュアブリードである。後天的に超血統が顕れる非常に稀有な例であり、研究の対象として議題に上がることもある。尤もそれに応じるかは本人次第だが、このまま推移していった場合どうなるのかは全く想像ができず、プランナーも或いはこの経過観察を子細に行うために電華を引き抜いたのかもしれない。

オーヴァードとしての戦闘能力は前述の特徴も相まって短期間で急速に成長している。特筆すべきは戦場を自身のマヨヒガと同様の環境に変貌させる能力である。覚醒から数ヶ月後には既に使用していた能力であり、汎サラマンダーの《氷熱の軍団》に当たるエフェクトだろう。しかし明らかにそれとは一線を画しており、マヨヒガが心象風景を寓話的に表現したものだとした場合、それを瞬間的に可視化してしまう力は異常である。